

会 議 録

1 会議名

平成30年度第2回吉川区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

(1) 地域活動支援事業提案団体によるプレゼンテーションについて

・報告事項（公開）

報告案件なし

3 開催日時

平成30年5月12日（土）午後1時00分から午後3時42分まで

4 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐豊、上野康博、薄波和夫、大滝健彦、片桐利男、片桐雄二、加藤正子、佐藤 均、関澤義男、平山英範、山岸晃一、山越英隆、横田弘美
- ・事務局：小林所長、大場次長（総務・地域振興グループ長兼務）、市民生活・福祉グループ小池グループ長（教育文化グループ長兼務、以下グループ長はG長と表記）、総務・地域振興グループ南雲班長、保高班長

8 発言の内容

【大場次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員13人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・山本委員から欠席の連絡を受けたことを報告
- ・会議録の確認：片桐雄二会長

【片桐雄二会長】

- ・挨拶

【大場次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務める。

【片桐雄二会長】

- ・本日の次第の確認
- ・関連する報告事項の整理
- ・会長報告（報告事項なし）
- ・委員報告を求める

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事務局からの報告を求める

【大場次長】

- ・報告案件なし

【片桐雄二会長】

- ・4 協議事項に移る。
- ・(1) 地域活動支援事業提案団体によるプレゼンテーションについて
- ・これから、地域活動支援事業提案者によるプレゼンテーションを行う。吉川区の地域活動支援事業に提案した全ての団体から、受付順にプレゼンテーションを実施していただく。団体には、プレゼンテーション7分、質疑応答3分と通知してある。また、事前に皆さんから提出された質問事項に対する団体からの回答を配布してあるが、疑問点や新たな質問等があれば、質疑応答の中で質問して欲しい。
- ・ここで、事務局から報告がある。

【保高班長】

- ・提案があった中で、No.1 竹直町内会から提案された竹直地区公共交通待合所を起点とする集落活性化事業は、協議資料No.1-2のとおり、5月10日付けで提案書を取り下げられた。
- ・これにより協議資料No.1-1のとおり、吉川区に配分された事業費570万円に対

する補助希望額の合計が902万2千円で、332万2千円オーバーしている。

- ・なお、各提案団体の事業番号について、取下げのあったNo.1は欠番として取り扱うので、今後ご注意ください。他の提案団体の事業番号に変更はない。

【片桐雄二会長】

- ・それでは、地域活動支援事業提案者によるプレゼンテーションを行う。
- ・No.1 竹直町内会の提案が取下げられたので、No.2 歴史と文化のまちづくり研究会から提案があった歴史と文化のまちづくり事業についてプレゼンテーションをお願いしたい。

(歴史と文化のまちづくり研究会藤田会長、江村氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【五十嵐委員】

- ・この事業は、入河沢を中心に民話や伝説等を調べてもらっている。今後、更に吉川区内の昔話などを集めて、まとめてもらう計画などはないか。

【歴史と文化のまちづくり研究会】

- ・今年度は吉川区全体を対象に考えている。伝承を伝えることなく死亡される人が多いので、どの程度、残っているかは不明だが、全町内会に照会して調べ、知っているような人には個別に話を聞きたいと考えている。

【薄波委員】

- ・昨年、入河沢の山の近くで崩落が発生したと聞いているが、それは確かな情報か。

【歴史と文化のまちづくり研究会】

- ・午前中に視察してもらった場所の近くで、人家の裏手が少し抜け落ちて工事をしたと聞いている。山全体の崩落ではなく、登ってもらった場所から50メートルほど離れた斜面の一部が崩落したものだ。

【薄波委員】

- ・承知した。遊歩道を整備するとのことだが、関係する場所は崩落の危険性がないと考えて良いか。

【歴史と文化のまちづくり研究会】

- ・心配されるような大規模な崩落ではなかった。

- ・さっき、登ってもらった中で、勾配がきつい場所があるが、整備内容はその場所に簡易な階段と手摺を付けたいと考えているものだ。土木工事をする予定はない。

【片桐雄二会長】

- ・以上で歴史と文化のまちづくり事業のプレゼンテーションを終了する。
(歴史と文化のまちづくり研究会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.3 吉川中学校後援会から提案があった吉川中学校吹奏楽部地域とのふれあい事業についてプレゼンテーションをお願いしたい。
(吉川中学校後援会小山代表、高橋氏、吉川中学校吹奏楽部鈴木顧問が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【五十嵐委員】

- ・事前の質問への回答にあったように、楽器の管理簿が見当たらず、探してもらっているようだが、見つかったか。
- ・管理簿はどこで管理しているのか。後援会か、学校か。また、今回、購入しようとしている楽器はどちらが管理するのか。

【吉川中学校後援会】

- ・後援会では保管できないので、実際には、普段の練習で使いやすいように学校で保管してもらうことになる。

【吉川中学校吹奏楽部鈴木顧問】

- ・管理簿については、以前に申請した時期が私の赴任する前ということもあり、まだ把握できていない。再度、学校で調べさせてもらう。

【山岸副会長】

- ・他の部活動から物品の購入希望が出された場合には、今後も後援会として地域活動支援事業に申請する考えか。

【吉川中学校後援会】

- ・吹奏楽部にはこの春、新一年生が10人も入部し、部員数が18人になった。今までは地域のイベント等に出演するのみだったが、コンクールの課題曲に挑戦できるようになったので、良いチャンスである。子どもたちの励みにもなるし、吉川の伝統になっていくと思う。こうした背景から、後援会としても申請すべきと判断した。

- ・今後、他の部活動でも、後援会の会計の中で収まり切れないような高額のものが必要になった場合には、その都度、相談して申請することもある。そのことで吉川中学校を盛り立てていけるのであれば、それも後援会の役割だと考えている。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・以上で吉川中学校吹奏楽部地域とのふれあい事業のプレゼンテーションを終了する。
(吉川中学校後援会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.4 まちづくり吉川から提案があったまちづくり情報の発信推進事業、プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図るについてプレゼンテーションをお願いしたい。
(まちづくり吉川藤野会長、中野事務局長が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【上野委員】

- ・複数年契約の計画だが、事前質問に対しては、30年度に採択されたが次年度以降に採択されないとは考えていない、と回答されている。何をもってこのように考えているのか。その根拠が分かるように説明願いたい。

【まちづくり吉川】

- ・具体的な根拠等はないが、提案をするにあたっては総合事務所の事務局と相談し、この事業が3年計画として地域活動支援事業に値するものかどうかを木田庁舎に問い合わせてもらった。その結果、この事業は3年計画で取り組んでも差し支えない事業であると返答をもらった。
- ・そのようなことから、事業の内容から見て上越市から3年間の事業として取り組んで差し支えないとの返答を得たと考えている。

【上野委員】

- ・私の理解では、複数年での提案は宜しいと事務局も言っているが、地域活動支援事業は単年度予算の事業であり、3年先を見越して予算付けしているものではないものと認識している。1年ずつ、事業を締める訳だ。それなのに、なぜ行政が3年間のものをオーケーと答えたのか。

【保高班長】

- ・年度前に相談があったことであり、私自身は具体的なやり取りを承知していないが、その点はお許しいただきたい。
- ・上野委員が心配しているとおり、この地域活動支援事業は単年度の事業である。だから、3年間の事業を計画され、提案をしてもらうことは可能であるものの、今の時点で、来年度や再来年度のことを約束できる事業ではない。今年度に採択されても、来年度に採択されないこともあるだろうし、極論を言えばこの補助金自体が来年度も確実に存在するという保証もない。
- ・事務局ではこれ以上の回答はできない。

【上野委員】

- ・私も複数年提案という部分については、事務局が述べた内容で理解している。しかし、回答の書き方は腑に落ちないものだ。
- ・採択されないとは考えていないとあるが、その年になってみなければ分からないことだ。

【まちづくり吉川】

- ・書き方が悪かったのかも知れないが、申請する側は採択して欲しいとの思いからそれを記述したものなので、よろしくお願ひしたい。

【上野委員】

- ・その思いは、十分に理解しているつもりだ。
- ・この他に、デジタル化云々の質問もあったが、これをしないということは良いことだと思う。すべての家庭にそのような機器が揃っている訳ではないので、その回答は評価する。

【佐藤委員】

- ・カラー印刷機を提案されているが、長年の事業展開の中でどのような時にカラーであれば効果的だったと感じたか、具体的な事例があれば聞かせて欲しい。
- ・カラーにすればその分、コストもかかる。分相応というか、何事も上を見れば切が

ない。これまで白黒印刷でも不都合はなかったのではないのか。住民は、それほどカラー印刷を望んでいないのではないかと思う。

【まちづくり吉川】

- ・やはり写真を印刷すると、総合事務所の印刷機では真っ黒に潰れてしまう。例えば体育祭などの写真も掲載しているが、折角の写真が全く分からないとの意見があちこちから出ている。
- ・これまではカラーではないのでと返答してきたが、もし、グレードアップできるものであれば、鮮明な写真による記事を提供できるものと考えている。
- ・13区の中にも、白黒のままの地域とカラーで印刷している地域があるが、できるならきれいな写真で情報提供したいと思う。

【片桐雄二会長】

- ・先日のまちづくり吉川の総会資料がカラー印刷だった。確かにカラーはきれいな印象を受けた。
- ・他に委員から質問等はないか。

【山岸副会長】

- ・最悪、来年度に補助事業がなくなった場合を想定する。今年度、この補助金を受けて印刷機を導入したとして、来年度、補助金が受けられなくなったからと言って、リース契約を途中解約することはできないだろう。そうなったら、財源の確保はなかなか厳しいものになるのではないか。

【まちづくり吉川】

- ・プレゼンテーションを終えて、具体的にはそれからという形だったが、まちづくり吉川では6月の中旬に理事会を予定しているので、その場で、採択の結果を受けた検討をしたいと思っている。
- ・財源的にどうかという話だが、廃止された有線放送農業協同組合から剰余金ももらっているの、それを活用できるかも含めて理事会の中で話し合いたいと考えている。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。時間も経過しているので、以上でまちづくり情報の発信推進事業、プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図るのプレゼンテーションを終了する。

(まちづくり吉川関係者が退席)

【保高班長】

- ・委員の皆さんにお願いがある。受付番号1番の団体が提案を取り下げたことで、今のところ、全体的にやや早く進行している。
- ・このことで、次にプレゼンテーションを予定していた団体の関係者の姿がなかなか見えなかったため、ひとまず、先に来ていたその次の団体から控席に着いてもらった。順番を入れ替えて、先に吉川三大枝垂れ桜を守る会からプレゼンテーションを行って欲しい。
- ・なお、本来の順番であった吉川観光協会はその後に到着しており、現在、隣の控室で待っている。

【片桐雄二会長】

- ・承知した。それでは、No.6 吉川三大枝垂れ桜を守る会から提案があった吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。
(吉川三大枝垂れ桜を守る会村松氏、谷内氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【関澤委員】

- ・質問に対する回答には、希望の補助額を大きく下回っても、会員の負担と募金により事業は行くと書かれている。仮に補助率が70%になったとしても、事業は実施するのか、あらためて確認したい。

【吉川三大枝垂れ桜を守る会】

- ・昨年度も、区への配分額を上回る程の事業が提案されていたので、我々は尾神の桜にかかる提案を途中で取り下げた。しかし、報恩寺の枝垂れ桜は、既に3年間、後回しにしてきたため、寺の建屋に倒れたり、人に向かって倒れたりすると大変なことになる。
- ・今年も寄付を仰いでいるし、来年度も事業と同時に寄付を仰いで、若干の借金をしてでも桜を元気にしていこうという意気込みで取り組みたい。

【片桐雄二会長】

- ・ほかに発言がなければ、時間も押してしまったので終了としたい。
- ・以上で吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業のプレゼンテーションを終了する。

(吉川三大枝垂れ桜を守る会が退席)

【片桐雄二会長】

- ・それでは次に、No.5 吉川観光協会から提案があった尾神岳サマーフェスティバル実施事業についてプレゼンテーションをお願いしたい。

(吉川観光協会事務局小池氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【山越委員】

- ・チラシを1万部作成する計画となっているが、配布するエリアはどの辺りまでを考えているのか。

【吉川観光協会】

- ・旧頸北地区を想定している。全市に配布したいが経費も掛かるので、遠方へのPRはJCVや報道機関に頼むことにして、チラシは頸北地区に配布したい。

【山岸副会長】

- ・地域活性化を計画的に行うには資金が必要だが、補助金に頼るのではなく、若干なりともチケット販売などにも取り組むようにしたら、事業の継続性が出てくるのではないか。自己資金も入れているとはいえ、現在は補助金で出演料等も賄っていて、チケット販売のような姿は見えない。観光協会として地域を売り出していこう、継続して活性化していこうと考えているなら、今後は収入の確保も考えてもらえれば良いかと思う。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・以上で尾神岳サマーフェスティバル実施事業のプレゼンテーションを終了する。

(吉川観光協会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.7 夢をかなえる会から提案があった上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業、林家正蔵落語会について、プレゼンテーションをお願いしたい。

(夢をかなえる会担当者五十嵐氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事前に質問に対する回答も提出いただいたので、この場で質問等がなくとも、委員も事業の内容を承知していることと思う。
- ・以上で上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業、林家正蔵落語会のプレゼンテーションを終了する。
(夢をかなえる会関係者が退席)

(午後2時13分から休憩。午後2時25分に再開)

【片桐雄二会長】

- ・それでは、プレゼンテーションを再開する。
- ・No.8 吉川町アマチュア無線クラブから提案があった吉川町アマチュア無線クラブレピター機器更新事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。
(吉川町アマチュア無線クラブ野呂氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【上野委員】

- ・提案書の、直近の会計決算の項目では、収入が1万2千円、支出が1万円、差額が2千円となっている。ところが、質問書の中に尾神岳の施設の年間管理運営費はどの位かという質問があり、回答では経費が2万5千円掛かっているとなっている。この差額は積立金か何かを充当して賄っているということか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・財源のひとつは原発の給付金であり、9,416円を収入している。それとともに、会員による総会などで飲み会を催す時に、少しずつ多めに徴収して差額をここに充てている。それらによって、何とかやりくりをしている状況だ。

【上野委員】

- ・決算にある収入額の他に、そうした様々な収入があるということか。それなら、こ

の決算の金額がおかしいのではないかと思うがいかがか。

【片桐雄二会長】

- ・収入額の1万2千円という金額は、多分、会費の額だろう。維持管理費は別の会計で、それは会の運営の部分で行っているのかと思うが、それで良いか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・収入が1万2千円しかないのではないが、ほとんどが電気量であり、少ない時で月額1,200円位、多い時で1,800円位である。
- ・電気量を支払う会計の中で飲み代を払うなどということはないので、正直に言えば、4月現在で約2万6千円の残金がある。
- ・たまには、少ないながらも寄付をくれる人もあり、そうしたもので賄っている。

【上野委員】

- ・お話しの内容は分からなくはないが、収支決算を行うのであればその金額も入れておくべきだと思う。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・承知した。今後はそのようにしたい。

【五十嵐委員】

- ・電話だと災害時には非常に込み合ってしまう繋がりにくくなるが、アマチュア無線はみんなで一斉に使っても容量オーバーで通信できなくなることはないのか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・恐らく、そのようなことはない。以前、山古志で大きな地震があった時も、アマチュア無線が活用されたようだ。車からだいぶ送信したというが、込み合って駄目だったとは聞いていない。
- ・非常通信の周波数は決まっている。非常時以外にはその周波数を使ってはいけないことになっていて、非常時には非常通信用の周波数で通信するので、順番に通信することにはなっても込み合って駄目だということはない。

【五十嵐委員】

- ・レピーターという機械には、容量の制約などはあるのか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・10ワットで出力している。アマチュア無線では、10ワット、50ワット、100ワット、500ワットのものがあり、免許によって決められている。一級の免許を所持していれば、大出力の無線通信ができる。私たちが所持する第4級アマチュア

無線技士免許では10ワットしか使えない。

【片桐雄二会長】

- ・無線の場合は、その出力が大きいほど距離的に飛ぶのだと理解してもらえれば良いかと思う。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・10ワットだとレピーターがなければ、せいぜい1キロメートル程度しか電波が届かない。

【片桐雄二会長】

- ・確認したいのは、そのことかと思う。上級の免許があれば、より遠くまで届く電波を使用することができ、海外などとも交信ができるという内容かと思う。

【山越委員】

- ・事前質問の回答の中で、緊急時通信の運用マニュアル規定があると回答しているが、どのようなことが規定されているのか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・吉川町アマチュア無線クラブの規約があり、その中に一緒に、アマチュア局の非常通信マニュアルがあって、そこで吉川区だけの非常通信マニュアルを設けてある。以前の小学校区別に、例えばスカイトピア遊ランドから通信する場合は小池さんが責任を持つとか、旧泉谷小学校では杉田さん、旧勝穂小学校では阿部さん、旧東田中小学校では私、本部には佐藤さんがというように、人物を割振って分担を作っている。

【山越委員】

- ・非常時にはその人が中心になって行うということか。

【吉川町アマチュア無線クラブ】

- ・そういうことだ。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・以上で吉川町アマチュア無線クラブレピーター機器更新事業のプレゼンテーションを終了する。

(吉川町アマチュア無線クラブ関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.9 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会から提案があった「スカイスポーツ振興特別事業」について、プレゼンテーションをお願いしたい。

(尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会佐藤氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事前質問にも回答してもらっており、委員も理解していると思うので、以上でスカイスポーツ振興特別事業のプレゼンテーションを終了する。

(尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.10 越後長峰城址保存会さんから提案のあった長峰城址保存活用事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。

(越後長峰城址保存会上野氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事前質問への回答ももらっており、また、ただ今の説明で委員も理解が進んだものと思う。
- ・以上で長峰城址保存活用事業のプレゼンテーションを終了する。

(越後長峰城址保存会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.11 長峰町内会から提案があった長峰町内会花いっぱい運動事業についてプレゼンテーションをお願いしたい。

(長峰町内会山崎氏が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・来年度以降も事業実施する計画か。

【長峰町内会】

- ・街路樹が立ち枯れた場所がかなりの面積になっているし、公民館前もかなり広い。
単年草にしたうえで、複数年事業として進めていきたいと考えている。

【片桐雄二会長】

- ・以上で長峰町内会花いっぱい運動事業のプレゼンテーションを終了する。
(長峰町内会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.1 2 吉川ゲートボール協会から提案があったゲートボール競技会等運営事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。
(吉川ゲートボール協会会長谷川会長が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事前に質問への回答ももらっているので、事業の内容は理解している。
- ・以上でゲートボール競技会等運営事業のプレゼンテーションを終了する。
(吉川ゲートボール協会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.1 3 原之町町内会から提案があった原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進、継続事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。
(原之町町内会金井会長が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事前に質問への回答をもらっているので、各委員は事業を理解していると思う。
- ・以上で原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進、継続事業のプレゼンテーションを終了する。

(原之町町内会関係者が退席)

【片桐雄二会長】

- ・次に、No.14 川谷もよりの将来をみんなで考える会から提案があった川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業について、プレゼンテーションをお願いしたい。

(川谷もよりの将来をみんなで考える会鳴谷氏、地域おこし協力隊内山隊員が、提案書等に基づきプレゼンテーション)

【片桐雄二会長】

- ・今程の説明に、委員から意見や質問はないか。

【片桐利男委員】

- ・事前質問への回答では、所有者は誰かという質問に対し、吉川町時代に無償で譲渡された施設であると記述されている。続けて、公民館として使っているのかという問いには、そうではないと回答があった。実質的な管理者は誰になるのか。
- ・二点目は、内山隊員が説明に来ている。内山隊員は、その地域を元気にしようと任命されているものと思う。そういう点では、この地域にはこういう問題があって、こういう風にしたいのだがという提案を、真っ先に行政に対して行うのが仕事ではないか。それより先に地域活動支援事業に提案をしたという理由を教えて欲しい。

【川谷もよりの将来をみんなで考える会】

- ・一応、川谷地区4集落のものになっており、静山荘管理運営組合という静山荘だけの会計が存在している。実質的な管理業務には、慣例的に下川谷の農家組合長が当たっている。
- ・しかしここ数年、4集落の財産という認識が強くなってきており、新しく設立された川谷もよりの将来をみんなで考える会が運営を行うことになった。昨年度から、我々の会が運営している。ただ、日常管理の管理者は従来どおり下川谷から選出している。

【地域おこし協力隊内山隊員】

- ・先に支援事業に提案したとの質問だが、地域の方々の人柄もあってか、法政大学のOBらが15年程も地域に通い続けてくれており、この冬も雪下ろし、雪かきに来てくれた。その時に彼らと話したが、現在は残念ながら静山荘には泊まらず、スカイトピア遊ランドに泊まっているとのことだった。
- ・理由を聞いたら、特にシャワー設備が無いことにより、一人が入浴した後に再び沸かし直さなければならないので時間が掛かることなどが挙げられた。
- ・地域活動支援事業を使う判断をしたのは、静山荘を直さなければと考えていたところに、たまたま事業のことを知ったためだ。隊員として日も浅く、行政の仕組みも余り良く分かっていない中で、ひとまず事業を利用したいと考えて提案することにした。

【五十嵐委員】

- ・今回の計画ではボイラーやトイレの修繕などが挙げられているが、現地視察の際にも大滝委員が話したように、浴室脱衣所の床が抜けそうだった。白アリが入っている様子も見受けられた。まずは、そこから直すのが先ではないか。
- ・今回の提案には、その箇所は含まれていないが、そのことをどう考えているか。

【川谷もよりの将来をみんなで考える会】

- ・内山隊員からも一番先にその提案をもらって検討したが、事業費が嵩んでいくと思われる中で、今回は提案に含めるべきかどうか迷って含めなかった。
- ・自分たちで直せるのか直せないのか分からないが、提案に含めなかった理由は優先順位というよりは、これ位は自分たちでしなければいけないだろうと考えたからだ。すぐに対応しようと思っている。

【大滝委員】

- ・白アリが入っている状況を見せてもらったが、今回、脱衣所のフローリングの修繕も独自で実施すると理解して良いか。床がブカブカしているので危険だと感じた。そのままにしてあの上に上がると、裸で床ごと落ちる可能性もあるので、安全性を考えれば、あの場所を直すことのほうが、他の場所より重要ではないかと考える。

【川谷もよりの将来をみんなで考える会】

- ・開けてみないと分からないので、今回の提案には間に合わなかったが、真っ先に直したいと考えている。

【山岸委員】

- ・市に聞きたい。地域活動支援事業以外で、この活動をフォローできるような手段は

ないものか。私たちが十日町市に視察に行った際には、市が地域おこしに取り組んでいたが、上越市として、このように地元の地域おこしに協力してもらっている方々の素晴らしい提案に対し、何とか援助する手段はないのか。

【小林所長】

- ・この提案をフォローできる適当な制度はない。

【片桐雄二会長】

- ・この場はプレゼンテーションということなので、市への質問等は別の場で行うことにしたい。
- ・時間も経過しているので、他に質問等がなければ、終了としたい。
- ・以上で川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業のプレゼンテーションを終了する。

（川谷もよりの将来をみんなで考える会関係者が退席）

【片桐雄二会長】

- ・以上で、地域活動支援事業提案者によるプレゼンテーションを終了する。
- ・プレゼンテーションの内容等を踏まえ、次回の地域協議会において審査し、採択すべき事業を最終決定する。
- ・その他の項目に移りたいが、委員から発言はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・発言が無いようなら、次第5 総合事務所からの諸連絡について、を議題とする。事務局から説明を求める。

【大場次長】

- ・諸連絡は特段ない。

【片桐利男委員】

- ・市に聞きたいがよいか。先程、山岸副会長が地域づくり協力隊の活動に対して、精神的な支援ではなく物的な市の支援はないのかと質問したが、ないとの答えだった。なぜ、ないのかを、もう少し詳しく教えて欲しい。

【小林所長】

- ・地域おこし協力隊は、上越市としてミッションを持って導入している。その他に隊員の定住に向けて、或いは受入れのためにと、住居のことや隊員の力を借りての地

域情報の発信などの面で援助をしている。

- ・隊員の活動に必要な車の手配や住居などの面で支援をしているので、地域おこし協力隊に関しては受入れ団体が行うことに対しての支援はない。
- ・ただし、移住等に関しては、法人に対する新規就農者の受入や体験事業に対する支援事業は持ち合わせている。
- ・今回の事例に関しては当てはまる支援がないので、この事例が支援を受けるための一番の近道は、この地域活動支援事業であると考えている。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。ないようなら、次回の地域協議会の日程を確認する。
- ・次回の地域協議会は、5月17日、木曜日の午後6時30分から、吉川コミュニティプラザで行いたいが、それでよいか。

【委員】

- ・反対発言なし

【片桐雄二会長】

- ・事務局、その日程でよいか。

【保高班長】

- ・会長が発言した日程でお願いしたい。

【片桐雄二会長】

- ・他に発言はないか。

【委員】

- ・発言なし

【片桐雄二会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線211)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。